

上原の十一面観音

上原、字観音元の地名の起りとなつた

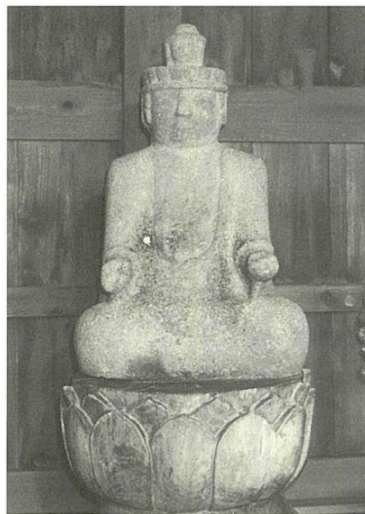
といわれる観音堂があつて、十

一面観音の石像

が祭られています。木製の蓮華座の上に高さ約五九

寸の十一面観音坐像が載っています。頭部は頂上仏面と周囲に十面の変化観音が小さく顔だけ並べて刻まれてあります。

普通、十一面の顔は前三面を慈悲面、左三面を憤



上原の十一面観音



怒面、右三面を狗牙上出面、後ろ一面を大笑面に表わされて、各面は阿弥陀化仏を戴く宝冠をつけた、お頭の像であるはずですが、あまりにも小さいのではつきりしません。

姿は二臂の手で何かを持つ形ですが先端が破損しています。蓮華の入った水瓶と数珠を持つていたのではないのでしょうか。お顔は人の苦しみを救う力を秘め、ふくよかな慈愛に満ちた優しさがあ

ります。この十一面観音は、造像の紀年銘は見当りませんが地名として残っているところから古い仏像と

思われます。